



Technology X Open Innovation

2022年9月期 [第41期] 第1四半期決算補足資料

株式会社システムソフト

TYO : 7527

2022年2月10日

- 2022年9月期 第1四半期 決算概要
- 2022年9月期 業績予想
- Appendix 中期経営計画

2022年9月期 第1四半期 決算概要

当初計画通りの業績進捗

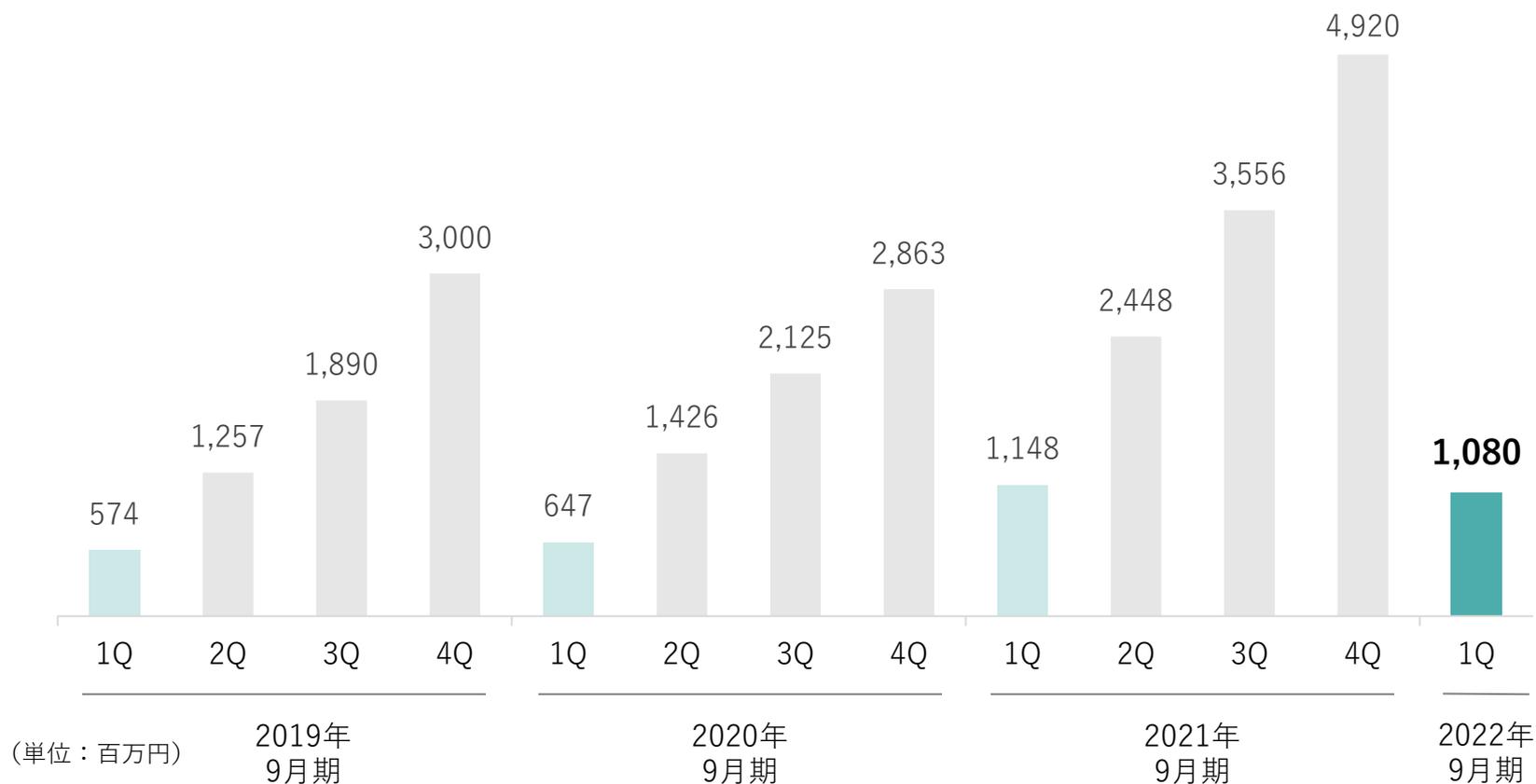
前年同期は投資事業[※]の売上高151百万円および利益149百万円が業績に大きく寄与
 今期はそれを除いても売上高はほぼ前年並みの着地
 利益は各プロジェクトにおいて費用先行の影響を受けるが想定通りに進捗

(単位：百万円)	2020年1Q		2021年1Q		2022年1Q	
	額	率	額	率	額	率
売上高	647	100%	1,148	100%	1,080	100%
売上総利益	32	5.0%	419	36.5%	197	18.3%
販売管理費	162	25.2%	154	13.5%	241	22.3%
営業利益	▲130	▲20.1%	265	23.1%	▲44	▲4.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益	▲209	▲32.3%	232	20.2%	▲65	▲6.1%

※2021年9月期第2四半期に実施したセグメントの変更に伴い投資事業は縮小済み

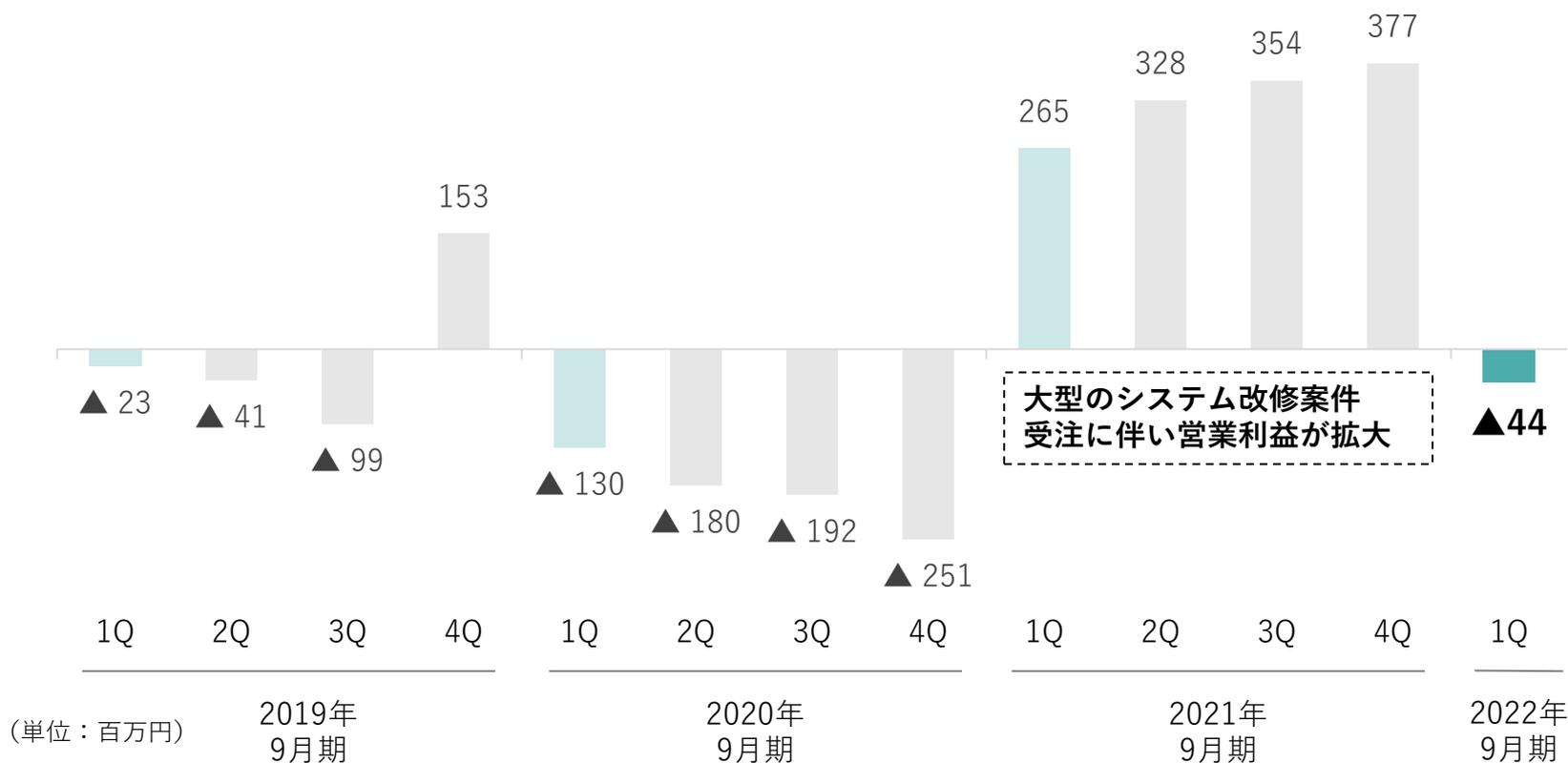
売上高 四半期推移（累計期間）

今期1Qは新規案件の着実な積み重ねにより、前期とほぼ同水準で着地



営業利益 四半期推移（累計期間）

プロジェクト自体は順調に進捗しているものの、
1Qは費用が先行して発生するために利益ベースではマイナス着地となった

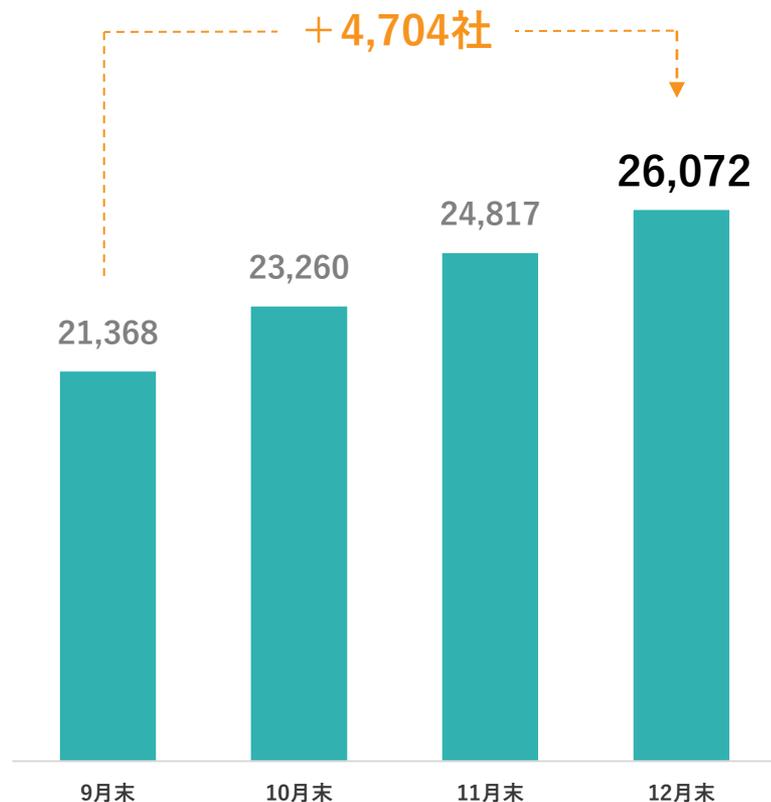


2021年9月期のfabbit社吸収合併に伴い
前年同期比で資産規模は拡大

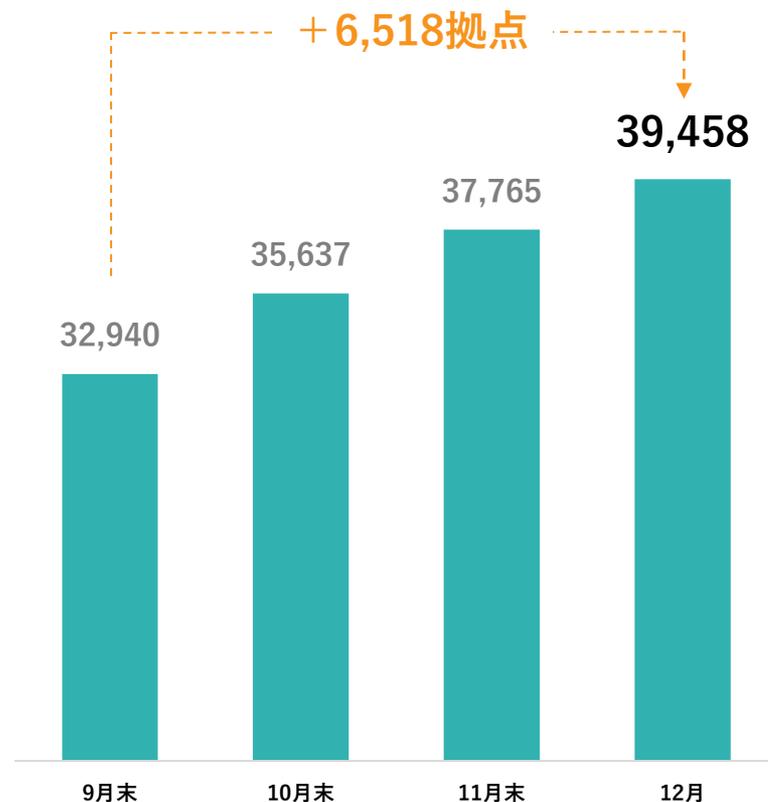
(単位：百万円)	2021年1Q	2022年1Q	増減
流動資産	3,463	3,902	+439
固定資産	1,687	3,272	+1,584
流動負債	491	998	+507
固定負債	590	505	▲84
純資産	4,069	5,670	+1,601
資本金	1,511	1,706	+195
資本剰余金他	2,516	3,712	+1,195
総資産	5,150	7,174	+2,023

積極的な営業活動により、順調に導入数が増加 SaaS商品利用拠点数は4万拠点に迫る

利用企業数（累計）



利用拠点数（累計）



「累計利用拠点数」は、クラウド毎の幹旋会社と管理会社の利用拠点数を単純に合計した数字です。（管理会社は、お申込みいただいた中で本店、支店、営業所、店舗をカウント）
「累計利用企業数」は、クラウド毎の幹旋会社と管理会社の利用企業社数を単純に合計した数字です。

SSクラウドシリーズとの連携で さらに業務効率を向上させるサービスを展開

2021年10月～2021年12月 累計利用実績

振込代行サービス
「FliCO」

41,438 件

導入費用・月額費・口座開設不要
振込手数料の大幅削減

口座振替サービス

6,475 件

記載・押印ミスの確認不要
口座振替にかかる手数料を大幅に削減

クレジットカード
決済サービス

約 **11** 億円

不動産賃貸に関わる敷金や礼金など
入居一時金をクレジットカードで
決済するサービス

不動産企業向け SaaS「SKIPS」 新たに家賃保証会社 3社とシステム連携 連携実績は全14社に

■ 新たに連携を開始した家賃保証会社（50音順）

- エルズサポート株式会社（東京都）
- 株式会社グローバルトラストネットワークス（東京都）
- ほっと保証株式会社（北海道）

・・・順次連携会社拡大予定

SKIPSと連携した家賃保証会社は、入居申込を行った入居希望者の情報をシステム上で確認可能に。申込書提出や審査完了までの業務効率が向上。



■ これまでの連携実績（50音順）

- アーク株式会社（岩手県）
- 株式会社アプラス（大阪府）
- あんしん保証株式会社（東京都）
- 株式会社エポスカード（東京都）
- 株式会社オリコフォレントインシュア（東京都）
- 株式会社クレデンス（東京都）
- ジェイリース株式会社（大分県）
- 株式会社全国賃貸保証（東京都）
- 全保連株式会社（沖縄県）
- ナップ賃貸保証株式会社（東京都）
- 日本セーフティー株式会社（東京都）

2022年9月期 業績予想

通期では売上高、営業利益ともに前年比増収増益を見込む
 安定収益基盤であるシステム開発事業が引き続き堅調に推移
 成長ドライバーとなるSaaSの導入件数をさらに拡大し、
 将来への収益力UPにつなげていく

(単位：百万円)	2021年9月期 実績	2022年9月期 予想
売上高	4,920	5,000
営業利益	377	400
経常利益	342	370
親会社株主に帰属する 当期純利益	483	220

1 既存事業強化

- システム開発・ソリューション事業は引き続き大型案件開発が進捗
- 増加する需要を捉え、確実に受注していく

2 SaaS契約数の拡大、収益化フェーズへの移行

- 不動産業界内での契約数拡大
- 新たなSaaS商品開発と他業種展開
- プロダクト価値向上とサービス品質の追求
- 22年9月度からSaaS商品の有償化を順次開始

3 認知度向上

Appendix 中期経営計画

短期

不動産業界のDX化におけるトップランナー



中長期

システムソフトのITテクノロジーと
イノベーションで社会のDXを推進

STRATEGY

テクノロジー

様々な種類のSaaSを展開、
高いシェアを獲得

サービスの質を高め
有料プランのリリース

オープン イノベーション

日本最大級1万人を超える
fabbit会員との提携・協業

主にSaaS技術や
ビジネスモデルの取り込み

新たな価値を。

システム開発事業は安定収益基盤として引き続き堅調に推移
成長ドライバーとなるSaaS事業が22年9月から有償化開始

(単位：百万円)	2022年9月期 予想	2023年9月期 予想	2024年9月期 目標
売上高	5,000	7,000	8,000
営業利益	400	700	1,000
親会社株主に帰属する 当期純利益	220	500	700

詳しくは「中期経営計画 2022-2024」をご覧ください。

<https://www.systemsoft.co.jp/wp-content/uploads/2021/11/chuukei20211112.pdf>

テクノロジーと
オープンイノベーションで
社会のDXを推進

事業拡大・
企業価値向上を
目指す

現在

成長ドライバー

SaaS・RPA事業

安定収益基盤

システム開発・ソリューション事業

テクノロジー



連携



連携



オープンイノベーション

多業種からなる会員規模との連携拡大
当社サービスを拡充・強化すると共に、新規ビジネス領域に参入

Technology × Open Innovation

Systemsoft

本資料は、株式会社システムソフト（以下、「当社」といいます）の現状をご理解いただくことを目的として、当社が作成したものです。また、本資料に記載されている計画や見通しは作成時点における情報に基づき当社が判断し予測したものです。今後の経営環境の変化により、計画や見通しが大きく変動する場合があります。その場合には本発表の内容の更新・修正の義務は負うものではありません。以上を踏まえ、投資家の皆様にはご自身のご判断にて投資くださいますようお願い申し上げます。